



No.44 2020.4.15

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

ピンチはチャンス できることを探っていきませんか

新型コロナウイルス感染症が拡がり、緊急事態宣言が発令されるという状況の中、新学期がスタートしました。新しい学年で新たな担任の先生、新しいクラスの友だちとの出会いもそこそこに、5月6日までの長い臨時休業に入りました。長い休業期間中の暮らし方や課題については、各学校で工夫され、各家庭にポスティングで配布したり、各校のホームページに Up したりと試行錯誤しているところですが、しかし感染拡大防止から Web 会議システムやファイルの共有システム等在宅ワークの環境が整わないまま、教職員の在宅ワークが始まりました。こんな状況だからこそ、よりいっそう「子どもの学びを止めない」ために何ができるかを考えることが必要だと考えます。今、教材研究よりも、子どもたちにメッセージを送り、子どもたちとつながる方法を考えていく方法を考えることが必要だと思います。教師間でメール・ライン・無料の Web 会議システムを活用しながらコミュニケーションを密にし、協同で子どもを支援し、つながりを持ちながら子どもたちの学びを止めない仕組みができたらと思います。そうした動きが「社会に開かれた教育課程」を創り、学校・保護者・地域が協働し、これからの時代で求められる資質・能力を育む新たな社会システムを創っていくことにつながっていくと考えています。

どんなことができるのだろう

これは各機関等から提供されている家庭学習支援に係るコンテンツ等です。どんどんコンテンツも追加されています。

<兵庫県教育委員会事務局教育企画課>

【URL】 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kikaku-bo/index.html>

ここでは、NHKやベネッセ、Z会など、いくつかのサイト一覧が掲載されています。一部の教材等コンテンツが無料で視聴できます。

<文部科学省>

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

ここでは、児童生徒及び保護者等が自宅等で活用できる教材や動画等を紹介する「臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト(通称「子供の学び応援サイト」)」を開設しています。特に、算数については、啓林館が運営している「スマートレクチャー」は明石市で使用している算数の教科書に沿うものであり、活用しやすいと考えています。無料で公開されていますので、ご覧ください。

<経済産業省>

【URL】 <http://www.learning-innovation.go.jp>

ここでは、「学びを止めない未来の教室」と題し、学校休校対策として学習支援を行っています。さまざまなコンテンツの視聴ができます。

【コンテンツや YouTube 等の活用方法を検討されてみては？】

新たにコンテンツをつくるというのは難しいです。ではこうしたコンテンツや YouTube を活用する方法を学校や学年で相談し、各校のホームページで発信するのはいかかでしょうか。

例えば

その1)算数・数学で明石市として準備した「みんなの学習クラブタブレット版」と、授業動画が充実している「19ch.tv」というサイトを併用しての復習や予習を呼び掛けてみるというのはいかがでしょうか。そして、期間限定で質問を受付検討されてはるフリーメールを開設し、子どもからの質問を受け付けるというのはいかがでしょうか。それは子どもたちや保護者のみなさんからの質問だけでなく、感想等を聞く双方向の関係が、これからの個々にあった学び方や、進化する学びをつくっていくことにつながるのではと考えます。

その2)新1年生向けの学校・校区探検的なプレゼンを作成し、新1年生に学校や地域を身近に感じ、学校に興味関心やつながりを持てるようメッセージを発信するというのはいかがでしょうか。そうしたプレゼンを校内で相談しながら在宅で手分けして作成することで、在宅ワークのトレーニングになるのではと考えます。

その3)現在課題等がドリル的なものが多くなっているのではと思います。子どもたちがこの状況の中で探究できる発達段階に応じたテーマ与え、子どもたちが個々探究するという学びを発信してみるのはいかがでしょうか。質問用のフリーメールで子どもたちの探究等での相談を受け付けることで、双方向のつながりがうまれてくるのではと思います。

これらはあくまでも例えばですが、“石橋をたたいてみる”のも大切ですが、“今できることからはじめ、歩きながら考えていく”ことが求められているのではと思います。そして、こんな時だからこそ、保護者のみなさんや地域のみなさんの考えを幅広く集めて、学校・家庭・地域で協働していくことにより、コミュニティ・スクールの土壌ができていくのではと思っています。

「・・・正解のない変革の時代、学校教育にもやはり正解はありません。・・・突出していなければよかった時代は終わりました。だれも正解はわからないのですから、誰かの言うことをきいていればよかった時代は終わったのです・・・」(教育開発研究所「校長の覚悟」より)。

こんな時だからこそ“発想の転換を”



こうした状況の中では、発想の転換が必要です。刺激を与えてくれる面白い本を見つけましたのでご紹介させていただきます。「みんなの学校が教えてくれたこと」・「校長の覚悟」は、ともに強烈に刺激的です。「こんな学校があるんだ、こんなことができるんだ」といろいろと考えさせてくれる本です。時代は大きく動いています。これからの時代にあった進化をとげていくために、視点を変え、発想を変えていく必要があると思っています。これらの本にはヒントがいっぱいあります。(文責:北本)